

第 1 例会レポート

と き : 2026 年 1 月 24 日 (土) 18:00. ~ 20:00

ところ : ルブラ王山



清水 中部部長



加藤 名古屋会長



神谷 東海会長



早川 グランパス会長

1 月の例会は名古屋地区のワイズメンズ 3 クラブ (東海、グランパス、名古屋) が集まり、新年合同例会として名古屋 YMCA にほど近いルブラ王山で行われました。

まず名古屋クラブの加藤会長が開会宣言・開会点鐘を行いワイズソング斉唱、聖書朗読・開会祈祷までは通常の例会と同じです。続いて加藤名古屋クラブ会長、神谷東海クラブ会長、早川グランパスクラブ会長からの挨拶があり、最後に富山から寒波襲来・大雪の隙を縫って駆けつけて頂いた清水中部部長からの祝辞・挨拶を頂きました。

そして本日のメインプログラムは「都市デザインの現場から」と言うテーマで鈴木清貴氏の講演です。氏は企業の設計・デザイナーとしてあるいは個人事務所の設計・デザイナーとして様々な公共空間の景観や施設の企画・設計・施工に長年携わってこられた方です。

愛知・名古屋の人間なら誰でも知っている名古屋駅の「金時計」は氏の設計だそうです。個人的に興味深かったのは、孫と行った公園にあった赤い着色コンクリート



で作られた複雑に入り組んだ滑り台が氏の設計だそうです。通称「タコの滑り台」と呼ばれ全国で 500 基以上設置されているそうです。

講演の終わりに、これからのデザインに於ける AI の活用という話がありました。デザインの絵を書いたり設計図を作ったりコンピュータ上に構造物の 3 次元のデータを入れるのは手間のかかる作業ですが、それらを今の AI はいとも簡単に作ってくれる例を幾つか見せて頂きました。私も簡単な調べ物や作文の校正には AI 使いますが、すごい速さで AI が進歩していると感じました。

最後は懇親会です。名古屋地区のワイズメンズクラブは所帯も大きくないので多くのメンバーが顔見知りでいっしょに YMCA やワイズの活動をする機会も多く、和気あいあいとした雰囲気の中で懇親を深めました。最後に各クラブのアピール、根の上を愛する会の解散と最後の寄付のお願いアピールが有りお開きとなりました。(渡辺真悟)



会計より会費納入のお願い

会費は月額 7,000 円、年額 84,000 円です。できるだけ 6 ヶ月分 42,000 円を 7 月と 1 月に納入して下さるようお願いいたします。(3 ヶ月ずつ納入される方は 7 月、10 月、1 月、4 月に納入して下さい)

ゆうちょ銀行 記号 12120 番号 82306781 なまえナゴヤワイズメンズクラブ

ブリテン委員よりお願い

各号に例会以外の活動報告を掲載しておりますが、全て当委員で把握出来ておりません。ワイズや YMCA 関係の行事に参加された方は その旨ブリテン委員にお知らせください。よろしくお願い致します。

名古屋ワイズ

ホームページとフェイスブックの紹介

名古屋ワイズメンズクラブの様々な情報はパソコンからは

<https://nagoya-club.wixsite.com/toppage>

FACEBOOK: 名古屋ワイズメンズクラブと検索スマホからは 1p 表題にある QR コードをスキャンすれば見る事が出来ます。一度覗いてみて下さい

■■■ 第 2 例会レポート ■■■

と き :2026 年 1 月 19 日 (月) 19:00 ~ 20:30

ところ : オンラインにて

○ 1 月以降の例会 内容

- 1 月例会 1 月 24 日 (土) 18:00 ~ 新年合同例会※
 - 2 月例会 2 月 10 日 (火) 19:00 ~
TOF 例会 (公開講演会)
場 所 : 名古屋 YMCA 本館 5F
講 演 : 世界の飢餓の要因とその現状、ハンガーゼロの取組
講演者 : 佐味 健志氏 (国際飢餓対策機構 : ハンガーゼロ
国内事業部・巡回牧師)
担当者 : 川本 (他ワイズ・Y 職員への呼びかけ案内 配布済)
食事なし、イス席のみ
ピンクシャツデー (2/25) を意識し、各自ピンクの物
を着衣して例会に出席する。
 - 3 月例会 3 月 10 日 (火) 19:00 ~
場 所 : 名古屋 YMCA 本館 5F
卓 話 : 「導かれて・・・スズカトにて」
講演者 : 三枝 隆氏 (名古屋 YMCA スズカト担当)
担当者 : 中井
 - 2026 年 4 月以降の候補
牧野和博氏 入会候補者 元名古屋ワイズ担当主事
DVD 鑑賞会 「希望の灯を灯す」故中村哲さんの記録
- 千賀 将氏 入会式について (平野)
2 月第一例会時に入会式を実施する方向で進める。(千賀
氏との調整 : 平野)

○ 次期中部の体制について (川本)

3 月 7 日 (土) 次期会長・主査研修会開催。

人事体制 : 1 月 25 日までに中部評議員会メンバーを決定。

中部部会 : 2026 年 10 月 31 日 (土) 場所 : スズカト開
催を検討中。日時は決定済み。

○ 根の上を愛する会について

根の上キャンプ場閉鎖に伴う資金集めについて、1 月合同
例会にて各ワイズにアピールする。

○ 3.11 東日本大震災犠牲者追悼式 あいち・なごやについて

3 月 11 日 (水) 鶴舞公園にて開催。詳細は下記 URL 参照

<https://tsuitou-aichinagoya.jimdofree.com/>

○ 名古屋 YMCA・ワイズの今後の予定

2 月 25 日 (水) ピンクシャツデー (前後 1 週間 : ピンクシャ
ツウイーク)

3 月 22 日 (日) 名古屋 YMCA リーダー感謝会 : 於) 南山ファ
ミリー YMCA

6 月 6 日 (土) 東日本区大会 (石巻市河北総合センター)

6 月 13 日 (土) 西日本区大会 (なら 100 年会館・ホテ
ル日航奈良) (川本龍資)

ハッピー・ズデー

メン 川口 恵、川本 龍資、相馬 静香、
戸田 真二
メネット 都築 啓湖、戸田 寛恵

■■■ 15 年目の 3.11 今年も開催 3.11 東日本大震災犠牲者追悼式あいち・なごや ■■■

あの日、日本中を震撼させた東日本大震災、被災者の心情
を思い、何かせねばと多くの人たちが考え、いても立っても
いられない気持ちを抱いたことでした。私もその一人です。

すぐに被災地に出向いての行動がとられました。YMCA
も故成瀬理事を含むワイズメンも、私の職場のキリスト教社
会館も、それぞれの立場で支援活動を展開しました。

2 年後、現地での活動と並行して、犠牲者追悼の場を、愛
知名古屋でも開催したいという話が出てきました。仙台市出
身で東北物産の販売で被災地、被災者を応援しようという
“みちのく屋”の大将の発案だったと記憶しています。すぐに、
震災支援活動等を展開する YMCA ほか 10 ほどの団体が集
まり、表記の追悼式を 3 月 11 日に開催することになりました。
この 13 年の間に、実行委員会から離れた団体もあれば、
新たに加わった団体もあります。愛知県には未だに 300 を

超す世帯が、震災によって、また、原発事故による放射能汚
染の脅威から逃れ、住み続けています。

この追悼式は、主義主張を超え、純粋に被災者を追悼する
こと、それを目的に毎年開催してきました。15 年の歳月
は、あの脅威、被災地、被災者への心配り、心寄せを減退さ
せ、風化といった状況を生みだしているかのようです。しか
し、大きな自然災害はその後日本各地で毎年おこっており、
東日本大震災を超えるような大規模な災害が近い時期に起こ
る危険が叫ばれています。

改めて、15 年前の東日本大震災を思い起こし、犠牲者へ
の追悼を通して、次に起こる大きな自然災害への備えとする、
是非、そんな機会を共にして貰えればと願います。

式典は 2026 年 3 月 11 日 (水) 第一部午後 2 時～、第
二部午後 5 時～ 鶴舞公園普選壇で行われます。(谷川 修)



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

今月の聖句

「心の貧しい人々は、幸いである。天の国はその人たちのものである。」

(マタイによる福音書 5:3)

西 村 清

マタイによる福音書 5～7 章は、昔から「山上の垂訓」と呼ばれ、また最近では「山上の説教」と呼ばれるようになりました。「垂訓」という表現は、ともすれば、道徳的教訓と考えられますが、しかし「説教」は倫理道徳の教訓を垂れる、というのとは違い、神の救いのわざを宣べ伝えるということなのです

さて、わたしたちは、意味ある人生を送りたいと願っています。長く生きれば生きるほど、悩みを抱えていることもあり、後悔を引きずっていることも多くあります。それでも、生きていて良かったと思える人生を送りたいと願うのです。しかし、あまりにも悲惨な経験をすると、生きていてなんになるのかという、追い詰められた気持ちになってしまいます。石川正一さんは 23 歳で生涯を閉じられた方です。彼は筋ジストロフィー（進行性筋萎縮症）という病気になり、筋肉に栄養がゆきわたらないためにおこる病気で、足から次第に痩せ衰えてゆき、やがて全身の筋肉が萎縮し身動きできなくなってしまいます。心臓も筋肉ですから、やがては死を迎えることとなります。

「ぼくなんか生まれてこなければよかった」と大きな声で叫んだのです。正一がそんな言葉を口にしたのは最初のことです。誰にあたることも出来ず、洋間の床の上をゴロゴロとごろがり、じゅうたんをもみくちゃにしながら、泣きはらした顔を母親が見たとき、「さすがに胸がつまりました。信仰のたりないわたしのこと、とっさになだめすかす術もわからず、子どもと一緒に泣き崩れてしまいました。」

わたしたちは、たとえ順風満帆な人生を歩んでいたとしても、突然の事故や自然災害で、その全てが崩壊するかもしれない、そんな不安定な命を生きています。そのような中で、意味ある人生を送りたいという願いをどのように満たすことができるのでしょうか。

そんな問いを持つわたしたちにとって、今日の聖書のイエスの語られる幸いな人々というのは、その冒頭から意外すぎます。「心の貧しい人々は、幸いである。天の国はその人のものである。」

(3 月号へ続く)

.....

YMCA ニュース

スポーツの祭典

YMCA ではスキーキャンプのシーズンを迎え、1 月から 3 月にかけて白馬、木曽福島、やぶはら高原、白樺高原、志賀高原にて実施します。スキーはスポーツである以上、怪我の可能性もありますが、安全面に十分配慮しながら実施していきます。今年は、2 月にミラノ・コルチナ冬季オリンピックが開催され、もちろんスキー競技も行われます。さらに 3 月には WBC、6 月にはワールドカップと、スポーツの世界大会が目白押しです。愛知では 9 月にアジア大会も予定されています。スポーツ観戦が大好きな私にとって、今からとても楽しみです。また、今年の箱根駅伝では、大逆転で青山学院大学が優勝しました。山登り区間での尋常ではないスピードは、それまで積み重ねてきたトレーニ

ング、いわゆる「青学メソッド」に裏付けられた成果だと思っています。一方、帝京大学は「世界一あきらめの悪いチーム」をスローガンに掲げ、往路 17 位から復路の繰り上げスタートを経て、箱根史上初となる 9 位に入り、来年のシード権を獲得しました。スローガンを掲げるだけでなく、それを実践するだけの練習を積み重ねてきた結果だと感じます。これから実施されるスキーキャンプもまた、企画や運営、日々のトレーニングといった地道な積み重ねの上に成り立っており、そうした裏付けがあってこそ、初めて「楽しいキャンプ」になるのだと思います。その積み重ねにも思いをはせながら、これからのスポーツ観戦を楽しみたいと思います。

(中井信幸)